

### 1. 化学品及び会社情報

#### 製品特定名

化学品の名称 : Underseal Bitumen, black  
製品コード : 20886 - 1 L

#### 推奨用途及び使用制限

推奨用途 : 粒子フィルター

#### 会社情報

LIQUI MOLY GmbH  
D-89081 ドイツ Ulm-Lehr  
Jerg-Wieland-Str. 4  
T (+49) 0731-1420-0 - F (+49) 0731-1420-88  
SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +49 (0) 6132 / 84463 (GBK GmbH, Ingelheim)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 3
健康有害性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (麻酔作用)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境有害性	水生環境 (慢性)	区分 2

絵表示 (GHS-JP)



GHS02



GHS07



GHS08



GHS09

注意喚起語 (GHS-JP) : 警告

含有 : Solvent naphtha (petroleum), light arom.; 炭化水素、C9-C11、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 % 芳香族化合物; Hydrocarbons, C9-C12, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, aromatics (2-25%)

危険有害性情報 (GHS-JP) : 引火性液体及び蒸気 (H226)  
眠気又はめまいのおそれ (H336)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (H373)  
長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

#### 注意書き (GHS-JP)

安全対策 : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。(P210)  
ミスト、スプレー、蒸気を吸入しないこと。(P260)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

# Underseal Bitumen, black

バージョン: 1.1 MSDS 番号: 10693-0062

- 保管 : 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物/容器を地域および国の規則に従ってに廃棄すること。(P501)

## 3. 組成及び成分情報

製品情報 : 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	1 - 20%				64742-95-6
propylene carbonate	1 - 5%		(5)-524		108-32-7
炭化水素、C9-C11、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物	10 - 20%	Unspecified			64742-48-9
Hydrocarbons, C9-C12, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, aromatics (2-25%)	1 - 10%				

## 4. 応急措置

### 応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 : 眠気又はめまいのおそれ。

### その他の医学的アドバイスまたは治療

- 医師に対する特別注意事項 : 対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 多量のウォータージェット
- 火災危険性 : 引火性液体及び蒸気。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 炭素酸化物(CO、CO2)、  
引火性および爆発性の蒸気-空気混合物を形成することがある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

## 6. 漏出時の措置

### 非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。

裸火、火花禁止、禁煙。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

### 封じ込め及び浄化方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項 : 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。  
容器を接地すること／アースをとること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。  
防爆型装置を使用する。

個人用保護具を着用する。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
容器を密閉しておくこと。  
施錠して保管すること。

技術的対策 : 容器を接地すること／アースをとること。

混触禁止製品 : 酸化剤。

熱及び発火源 : 高温、直射日光を避ける。

包装材に関する特別な規則 : 他の容器に移し替えないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

手の保護具 : 柔軟クリームを塗る。この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく。製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。手袋素材は破過時間、透過速度、劣化等を考慮して選択する。

## Underseal Bitumen, black

バージョン: 1.1 MSDS 番号: 10693-0062

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
適切な保護手袋。	天然ゴム。ポリ塩化ビニル (PVC)。ニトリルゴム (NBR)。	6 (> 480 分)。	0,4		EN 374。

眼の保護具 : サイドシールド付き安全メガネ。密着性の高い安全ゴーグル。安全メガネ。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
フィルター付きマスク。	タイプ A - 高沸点 (>65°C) の有機化合物。	空気中の濃度>暴露限界の場合。	EN 14387。

環境への暴露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 液体
外観	: ペースト
色	: 黒色
臭い	: 特有の臭気
pH	: 7
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)	: 非該当
沸点	: 140 °C
引火点	: 27 °C
自然発火温度	: 200 °C
燃焼性 (固体、気体)	: 非該当
爆発範囲 (上限、下限) (g/m <sup>3</sup> )	: 非該当
50 °C での蒸気圧	: 30 hPa
密度	: 1.02 g/ml
溶解度	: 不溶性。
爆発特性	: 物質は爆発性ではない。引火性/爆発性蒸気-空気混合物を形成することがある。
爆発範囲 (上限、下限) (g/m <sup>3</sup> )	: 非該当
爆発限界 下限 (LEL)	: 0.7 vol %
爆発限界 上限 (UEL)	: 7 vol %
動的粘度:	: 1700 mPa.s

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は検出されていない。
避けるべき条件	: 静電気の負荷の蓄積を避ける。高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 区分外。  
 急性毒性（経皮） : 区分外。  
 急性毒性（吸入） : 区分外。

Solvent naphtha (petroleum), light arom. (64742-95-6)	
LD50 経口 ラット	2000 - 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 ラット (mg/l)	10.2 mg/l/4h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外。  
 pH: 7。  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分外。  
 pH: 7。  
 呼吸器感作性 : 区分外。  
 皮膚感作性 : 区分外。  
 生殖細胞変異原性 : 区分外。  
 発がん性 : 区分外。  
 生殖毒性 : 区分外。  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 眠気又はめまいのおそれ。  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。  
 吸引性呼吸器有害性 : 区分外。

## 12. 環境影響情報

生態系 - 全般 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。  
 水生環境(急性) : 区分外。  
 水生環境(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

Solvent naphtha (petroleum), light arom. (64742-95-6)	
LC50 魚 1	9.2 mg/l
NOEC 魚 慢性	> 1 mg/l

炭化水素、C9-C11、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物 (64742-48-9)	
LC50 魚 1	2200 mg/l (Exposure time: 96 h - Species: Pimephales promelas)

Underseal Bitumen, black	
残留性・分解性	追加情報なし

Underseal Bitumen, black	
生体蓄積性	追加情報なし

Underseal Bitumen, black	
土壌中の移動性	追加情報なし

オゾン層への有害性 : 区分外。  
 その他の有害な影響 : 追加情報なし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。  
 汚染容器及び包装 : 容器内の残余物は除去する。  
 廃棄または焼却処分よりリサイクルが好まれる。  
 洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

### 追加情報

推奨下水処理 : 推奨されない。  
 追加情報 : 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)	内陸水路輸送 (ADN)	鉄道輸送 (RID)
<b>国連番号</b>				
1139	1139	1139	1139	1139
<b>国連正式品名</b>				
コーティング液	COATING SOLUTION	Coating solution	コーティング液	コーティング液
<b>輸送危険物分類</b>				
3	3	3	3	3
<b>容器等級</b>				
III	III	III	III	III
<b>環境有害性</b>				
環境有害性：はい	環境有害性：はい 海洋汚染物質：はい	環境有害性：はい	環境有害性：はい	環境有害性：はい

海洋汚染物質 : はい  
緊急時応急措置指針番号 : 127;128

### 国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
その他の情報 : 補足情報なし。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 第3種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号）  
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）  
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）  
石油ナフサ（政令番号：330）（35～45%）

消防法 : 第四類引火性液体 第二石油類 危険等級 III 炭化水素系塗料

船舶安全法 : 引火性液体類（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）

航空法 : 引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）

港則法 : その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

道路法 : 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）

## 16. その他の情報

## Underseal Bitumen, black

バージョン: 1.1      MSDS 番号: 10693-0062

---

### 改訂情報

Section	変更アイテム	変更	コメント
	優先日。	追加。	
	改訂日。	変更。	
	消防法。	変更。	
	発行日。	変更。	

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。